

普及活動情勢報告（平成28年9月分）

中央東農業振興センター農業改良普及課

「ふれあいの市」が講習会を開催



説明を熱心に聞く参加者ら

9月5日、JA土佐香美本所において、JA土佐香美女性部野市支部直販部「ふれあいの市」は、講習会を開催しました。部員39名が参加し、県関係機関から農産物管理や衛生管理等について説明を受けました。

農業改良普及課からは、農作業の各工程管理によって異物混入などの事故件数の0を目指した取り組みについて説明しました。

参加者からは、賞味期限の設定方法や加工品の表示方法について質問があり、「非常に勉強になった」との声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後も消費者から信頼される農産物の生産を目指して意識啓発を行っていきます。

優良ほ場で現地研修 ～JA土佐香美やっこねぎ部会～



夏場の栽培管理を確認

9月7、8日、JA土佐香美やっこねぎ部会では、高温期の栽培管理に関する現地研修会を開催し、延べ58名が参加しました。

農業改良普及課とJAでは、条件が厳しくなる盛夏期にも適切な管理によって良い作を維持している2戸を選び、直接ポイントを話してもらえるように企画し、準備と調整を行いました。

参加者からは、「播種後のかん水量は？」、「ECを高めない方法は？」、「刺激になる」など、具体的な質問や意見が出されました。

今後、農業改良普及課では、周年安定生産、出荷量維持のために、技術・組織面の強化に向けて支援していきます。

JA長岡ピーマン部会を開催



JA長岡ピーマン部会

8月31日、JA長岡青婦人部会館で長岡ピーマン部会が行われ、生産者9名が参加しました。

農業改良普及課は、ピーマン栽培の基本的な管理及び、炭酸ガス発生装置などの環境制御装置について説明しました。生産者からは、「スマホによって、かん水作業などの管理が無駄なくできるようになるかもしれない。」等の声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後もピーマンの安定生産を支援していきます。

水稻の優良種子の生産のために ～採種組合ほ場を審査～



ほ場内を注意深く審査

6月から9月にかけて、稲生、南国、東崎、香北町の採種組合において、水稻種子を生産するほ場の審査を実施しました。

組合員・JA立ち会いの下、農業改良普及課、農業技術センター及び環境農業推進課の種子審査員が、ほ場ごとに異品種の混入がないか、病虫害や雑草が発生していないか、ほ場の管理は適切かといった項目について審査しました。また、組合員には、今後収穫に向けての管理方法について指導しました。

農業改良普及課では、今後収穫された種子の発芽率などを確認し、29年度に向けた優良種子の生産・供給の取り組みを支援していきます。

ニラ産地の強化に向けた取り組みの提案



JA土佐香美ニラ部会役員会

9月2日に今後の取り組みを検討するため、JA土佐香美のニラ役員会を開催し、役員7名と香南市、香美市、JA、振興センターの関係機関13名が参加しました。

農業改良普及課は、新規就農者受入のための産地提案書作成やクラスターの取り組みについて提案しました。

参加者からは、「販売強化を支援してほしい」や「新規就農者を定着させる支援体制を充実させる必要がある」、「機械銀行や研修ハウスが必要である」などの意見が出されました。

今後、農業改良普及課では、ニラ栽培が維持拡大できる具体的な仕組み作りに向けて、支援していきます。

第3回 南国市3JAシシトウ部会の合同会議を開催しました！！



生産者大会の内容を検討中

9月7日、JA南国市南部営農センターにおいて、南国市3JAシシトウ部会合同会議が開催され、部長、女性部役員、園芸連、各JA職員が出席し、平成28年度のシシトウ生産者大会、消費宣伝、産地ビジョンの検討、情報交換を行いました。

農業改良普及課は、生産者大会の開催や消費宣伝活動等の計画作成を支援しました。生産者大会については、11月1日に開催し12市場に来ていただく計画となりました。また、10月23日には淀橋市場まつりに参加して消費宣伝するほか、その前日には量販店2ヶ所で消費宣伝を行うことになりました。産地ビジョンについては、ワークショップを行い課題に対する今後の活動について意見を出しました。

農業改良普及課は、JA各部会、JAなど関係機関と連携して計画的に活動ができるよう支援していきます。

J A長岡ニラ部会を開催



J A長岡ニラ部会

8月26日、J A長岡青婦人部会館でJ A長岡ニラ部会が開催され、生産者5名が参加しました。

農業改良普及課は、高温・乾燥環境による害虫の発生について注意を喚起し、トラック輸送時の温度推移について、調査結果を報告しました。生産者からは、「温度が下がりきっているニラでは、輸送中の温度上昇が緩やかになっている。」という声が聞かれました。

農業改良普及課は、今後もニラの生産安定のために支援していきます。

ニラの業務需要拡大を目指して ー加工用ニラ出荷説明会ー



JA 土佐香美 加工用ニラ出荷説明会

ニラの業務需要拡大のため、8月9日に加工用ニラ出荷説明会を開催し、加工用ニラの出荷に関心のある生産者14名と、園芸連、J A、振興センターが参加しました。

参加者からは、「そぐり機の導入が進むなか、省力化やコスト低減、所得向上につながる取り組みや仕組みづくりが必要である。」等の意見が出されました。また、具体的な生産者ごとの出荷量の割り当てや出荷方法を協議し、8月31日から出荷を開始することを決定しました。

農業改良普及課は、今後もニラの安定生産と新規需要拡大に向けた取り組みを支援していきます。